

行橋市

「行橋市花とみどりの会」活動報告

行橋市は、福岡県の東部、瀬戸内海に面した、海と山とに恵まれた緑豊かな京都市の中心に位置しており、人口が7万3千人の穏やかな田園都市です。

本会は昭和59年「行橋を緑と花のオアシスに」をキャッチフレーズに環境美化・花いっぱいの推進団体として「行橋市みどり」と花の善意銀行」の名称でスタートし、平成6年現在の「行橋市花とみどりの会」に改称、通算37年間活動して現在にいたっています。

平成16年に市制施行50周年記念として第47回全日本花いっぱい行橋大

会が開催された折、市内各所に配置するための5600個のプランターに花を育成させました。

近年の主な活動としましては、市施設で整地、種まき、除草の作業で生育させた花苗6万本（春はマリーゴールド黄・橙とジニア、秋はきんせんか黄・赤となでしこ）を市内120団体に配布しています。特に春は市で花いっぱいコンクールが開催され、各所で咲き揃った花々を見ることが出来ます。特に本会が管理する今川沿い市道の花壇には5千本の花が長さ450mにわたって咲きほこり、川土手の桜の花や菜の花と見



花苗生育活動



市道沿い花壇植栽活動



研修活動



事に競演して、市民や市外からのお客さまの目を楽しませてくれています。本会の会員数は最多で70名を超えていましたが、現在は平均年齢が78歳と高齢化が進み、会員数も25名となっていますが、市内から花を消せないとお互いに支えあって活動しています。

今後も「地に花を、心に笑顔の花を咲かせましょう」を合言葉に、より多くの市民が花とふれあう機会を増やし豊かな心を育む取り組みを推進させていきます。

第51号
発行日 令和3年12月
発行 全日本花いっぱい連盟事務局
長野県松本市中央1-18-11
TEL 0263-3213042
FAX 0263-3216511

長野市

全国からの来訪者を花でお出迎え

長野市緑と花いっぱいの会

花と緑

を育てる

ことで生

活にうる

おいとや

すらぎの

ある明る

い社会づ

くりをめ

ざして、

市内の緑

と花を愛

好するグ

ループで昭和43年に設立し、50余年の活動

を継続している「長野市緑と花いっぱいの会」です。

会員として活動を支えているのは公共空間で緑化活動に取り組む地域のボランティア

会」です。

会として活動を支えているのは公共空間で緑化活動に取り組む地域のボランティア

会」です。

会として活動を支えているのは公共空間で緑化活動に取り組む地域のボランティア

会」です。

会として活動を支えているのは公共空間で緑化活動に取り組む地域のボランティア

会」です。

会として活動を支えているのは公共空間で緑化活動に取り組む地域のボランティア

会」です。

会として活動を支えているのは公共空間で緑化活動に取り組む地域のボランティア

会」です。

会として活動を支えているのは公共空間で緑化活動に取り組む地域のボランティア

会」です。



長野市内の公共空間での花壇活動



活動のための花苗づくり

活動のための花苗づくり。令和4年4月3日から88日間の期間、長野市は善光寺御開帳が開催される予定です。いつもの御開帳よりも会期を1カ月延長しての長期間、多くの来訪者をお出迎え



善光寺御開帳を契機に宿根草を取り入れるなどさまざまな花壇づくりに発展

興などにも貢献できる「グリーンインフラ」も体験できるような工夫も検討しています。皆様のご来訪を心よりお待ちしております。



早春から始まる善光寺御開帳を花で彩る活動

アグループや団体、企業・個人、合計48です。活動当初は、花苗を共同購入することで、できるだけ安価に多くの花苗を調達する事業を行いました。平成22年からは、活動の発展と持続をめざして、自分たち自前で花苗を作ることに取り組みました。プラグ苗と呼ばれる小さな花苗をポットに鉢上げし、およそ1カ月の間、会員が交代で水やり作業を行い、花苗を成長させます。



お出迎え花壇のメンテナンスには、多くの市民、ボランティアグループも参加

する玄関口は、長野駅善光寺口駅前広場です。前回、平成27（2015）年の御開帳では、当会と緑化関係諸団体が連携して、善光寺口駅前広場を花で彩りました。早春4月を飾るための球根やノザワナの種は、前年度のワークショップでプランターに植え付けて準備しました。

会期中はメンバーが入れ替わりで、毎日の水やり、花がらつみなどのメンテナンスに取り組みました。長野の春は、花々が一気に咲き誇ります。そのため、会期中は4回のリニューアルが必要になりましたが、その都度、大好評をいただきました。

今回の善光寺御開帳でも、お出迎えの花壇を企画しています。また、防災や観光振



とよたガーデニングフェスタの様子

花き園
ます。
顔を併せ
持ってい
としての
緑のまち
恵み多き
広がる、
る田園が
を実らせ
菜や果物
季節の野
市域を貫
く矢作川、
な森林、
める豊か
7割を占
のおよそ
方、市域
を持つ一
枢都市と
しての顔
を持つ一
の約そ
7割を占
める豊か
な森林、
市域を貫
く矢作川、
季節の野
菜や果物
を実らせ
る田園が
広がる、
恵み多き
緑のまち
としての
顔を併せ
持ってい
ます。
花き園

令和3年3月に市政70周年を迎えた豊田市は愛知県のほぼ中央に位置し、愛知県全体の17・8%を占める

豊田市 とよたガーデニングフェスタ

広大な面積を持つまちです。全国有数の製造品出荷額を誇る「クルマのまち」として知られ、世界をリード

今回のタイトルは、「東京2020オリンピック・パラリンピック」です。花壇づくりの活動期間は10年程度となりますが、平成25年以降「秋田市民憲章推進協議会」主催の「秋田市緑化コンクール」において、賞をいただくようになり、令和2年は「秋田県花いっぱい運動の会」主催の「全県花だんコンクール」において、秋田県知事賞を受賞することができました。

そのプランの中でも「とよたガーデニングフェスタ」は市民に最もなじみのある花のイベントです。昭和55年よりご家庭で植物に親しんでもらおうと「植木まつり」として開催してから、平成22年に「とよたガーデニングフェスタ」と名を改め、令和3年4月で第41回を数えています。



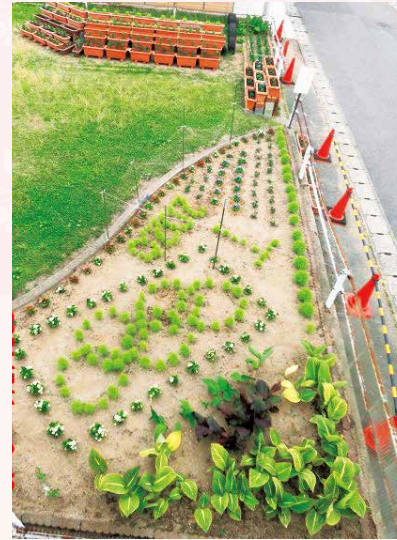
西山公園のバラ園



西山公園
InstagramQR

予定です。春の花やバラたちと共に皆様のお越しを心よりお待ちしております。

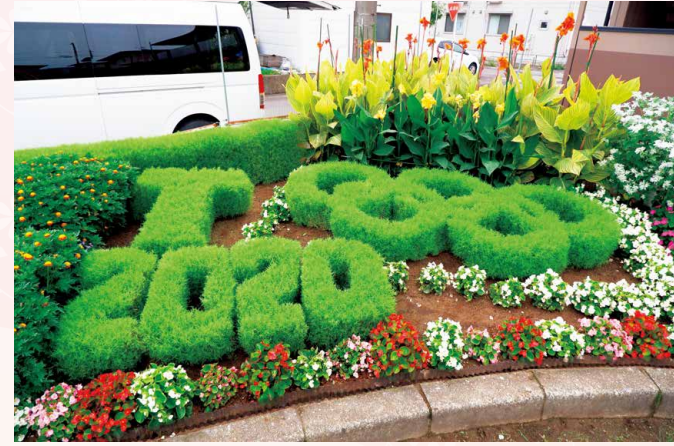
園をはじめ、四季折々の花と緑に囲まれた都市緑化植物園である「西山公園」で行われています。「花とみどりの発信拠点」である西山公園でのフェスタは、公園内へのアジサイの植樹体験、50店を超える園芸店舗の出店、日頃のデザイン成果を魅せるコンテナガーデンコンテストのほか、日頃、公園の花壇管理や講座指導を行っていたいているボランティア「花の輪西山」・「西山花クラブ」の活動発表や花苗の配布も行われ、コロナ禍の時期ではありましたが、感染症対策を厳粛に行い、約1万6千人にご参加いただきました。令和4年も4月29日（金・祝）、5月1日（日）の3日間、西山公園で第42回「とよたガーデニングフェスタ」を開催する予定です。春の花やバラたちと共に皆様のお越しを心よりお待ちしております。



植え付け作業後の花だん

印象的で注目されるような花壇を作りたいと考えましたが、最初の頃は、納得のいくものを作ることができませんでした。そこで、ほかにはない特徴のある花壇にしようと考え、前年と同じ花と変える花を育て、タイトルを決めて、レイアウトを作りタイトルに決めたものを表現することにしました。

イメージで注目されるような花壇を作りたいと考えましたが、最初の頃は、納得のいくものを作ることができませんでした。そこで、ほかにはない特徴のある花壇にしようと考え、前年と同じ花と変える花を育て、タイトルを決めて、レイアウトを作りタイトルに決めたものを表現することにしました。



コキアを刈りこんだメイン花だん



植え付け作業の様子

賞の受賞という評価や公園に訪れる方々からの評判は、私たちの活動が徐々に実を結んでいるという実

花壇クラブの会員は10名に増え、年々見学者も多くなって、近くの子ども園児たちが訪れることも恒例となっており、「お花の公園」という愛称で呼ばれています。普段は静かな公園ですが元気な園児たちが来ると、楽しそうに遊ぶ声でにぎやかになり、周辺を明るい雰囲気にしてくれま



笑顔の花壇クラブメンバー

今回のタイトルは、「東京2020オリンピック・パラリンピック」です。花壇づくりの活動期間は10年程度となりますが、平成25年以降「秋田市民憲章推進協議会」主催の「秋田市緑化コンクール」において、賞をいただくようになり、令和2年は「秋田県花いっぱい運動の会」主催の「全県花だんコンクール」において、秋田県知事賞を受賞することができました。

感につながっており、これまでの成果を糧に引きつづき花壇づくりを通して、地域の環境美化、緑化運動に一層の貢献を尽くしたいと思っています。



五輪を花の色で表現(緑青黒黄赤)